

七月迄ニ豫定ノガキ人ヲ超過スルコト五百名ニ達シタルハ此職ヲ退(退)スル  
 二次ノ解雇方針トシテ參年五百名即チ全職工數ノ削減ニ決メタリ  
 尤モ或ル工場ニテハ年令技術ノ点ニ於テ必要ノ職工迄モ一時退職届ヲ差  
 出スニ望リシヲ以テ<sup>退</sup>職不許可ヲ申渡シ留任ヲ勸告シタルニ工場モア  
 リシハ事實多ク(少々藥ノ廻リ過ギト云フモナリ)斯ク退職者續出スルニ至  
 リシ事由ハ職工側ガ纏ツタ金額ヲ一時ニ懐中ニ入レ得ルコト先キノコ  
 トハ先キノ神様ガ知ツテ<sup>退</sup>座ルト考フル獨身ノ他府縣人所謂渡リ  
 職工根柢者ト老年職工ハ論示的ニ退職スル者モアリテ先以テ四五年内ヲ  
 資本ニ商人ト在者又ハ御望ニ<sup>持卷</sup>帰農帰漢スル心理状態ニ出  
 テタルモノ忍メラレ

要スルニ此際自重シテ留職シ居ル者少ナキ理智ノ觀念凡者ニシテ  
 將來ト雖利害得失ヲ考ヘ<sup>退</sup>働運動ニ共鳴シ空騒キヲ為サザル集  
 團ニシテ多クハ長壽縣下ノ出身ナリト聞ク。